



「優しさ日本一」の実現のために

本当に素晴らしい卒業式でした。この一年間、阿南中の大黒柱として学校を支え、大きく成長した3年生はまばゆいほどに輝いていました。

3年生、最後の数か月がどれほど大変であるかは、2年生は来年、1年生は再来年に体験することになると思います。しかし、この間、3年生は本当によく頑張り、苦しい時期を乗り越えました。苦勞なく進路を決定できた人は、ほとんどいなかったのではないかと感じるほどでした。それほど多くの生徒が悩み、苦しみながらも前進したように思います。

1・2年生のみなさんの大きな成長も感じました。この1年間の学校生活やさまざまな行事の中で、みなさんの成長を強く感じたものの一つに、11月に行われた**阿南市中学校人権教育研究発表会**があります。公開授業を行ったのは運営の関係で約半数の学級でしたが、すべての学級が1年を通して人権学習に取り組み、各学級で「人権」について真剣に語り合う姿が見られました。

私は、「差別をなくそう」と言うだけでは差別はなくならないと思っています。差別をなくすためには、「**知ること、考えること、行動すること**」が必要だと思います。

「優しさ日本一の学校」の実現も同じです。困っている人の気持ちを「知ること」、自分にできることを「考えること」、そして自分から「行動すること」が必要だと思います。そのために必要なことが、「話し合うこと」だと考えています。

今年、みなさんが各学級や学年で学んだこと、そして仲間や先生と語り合ったことは、これからもみなさんの中で確実に生き続ける大切な財産だと信じています。

これからも共に学んでいきましょう。私も頑張ります。



裏面もご覧ください♪そしてHPもよろしく♪

「授業の力」

保護者の皆様におかれましては、この1年間、本校教育にご理解とご支援をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。本通信を通して毎月、本校の教育方針や学校の様子をお伝えしたいと考えておりましたが、私のサボり癖が発動し、この第3号で本年度最終号ということになってしまいました。情けない限りです。

3年生の保護者の皆様におかれましては、改めてお子様のご卒業おめでとうございます。皆様には、今後も「阿南中ファミリー」の一員として阿南中学校を見守っていただければ幸いです。これからも阿南中学校ホームページなどをご覧いただければと思います。

~~~~~  
今年度、これまでまったくご縁のなかった阿南中学校に勤務することになった私ですが、実は保護者の中に私の教え子が何人かいます。行事などで会うと、気恥ずかしさと同時にうれしさも感じます。私は何もしてあげられていませんが、今年卒業した171名の生徒たちも、私にとって大事な「教え子」です。教員にとって「教え子」は宝物のような存在です。

私の教え子の中には教員になっている人もいます。英語の教員をしている私の教え子は、「岡田先生の影響で英語の教員になりました。」と言ってくれます。とってもうれしいのですが、同時に彼は、「実は英語の授業より、人権の授業の方が心に残っています。」とも言うのです。

私は24歳のとき県外で教員として働き始め、そのときに人権教育と出会いました。それから30余年、多くの生徒や保護者、先輩や仲間の先生方と出会うなかで、人権教育に取り組んできたことで、自分が「教師」になれたのだと感じています。だからこそ、人権の授業が心に残っていると言ってもらえることは私の誇りでもあります。

私の行ってきた人権の授業は、「話し合うこと」でした。学級の中で生徒と担任が、自分の思いを語り合うことを何より大切にしてきました。

学級担任のときにつくった指導案ノートは、今も何冊ものこしてあります。発問や話し合いの進め方、予想される子どもたちの答えを書き込み、授業後には生徒たちの意見を思い出しながら、一人ひとりの気持ちに思いをめぐらせました。自分の中で答えが出ず、本をむさぼり読んだり、話を聞きに行ったりしたことも思い出します。ですから、大好きな教え子から「授業が心に残っています。」と言われると、何よりうれしいのです。

~~~~~  
今年度、阿南中学校では11月に、阿南市中学校人権教育研究発表会が行われ、市内中学校のほとんどの先生方が本校の授業を見に来てくれました。運営上の都合により、大会当日に公開授業を行った学級は半分程度でしたが、それに向けてすべての学級が、生徒と教員が「話し合い」「学び合う」授業を繰り返してきました。

思春期まっただ中の中学生は、そう簡単に自分の思いを話してくれるわけではありません。それでも本校教職員は粘り強く取り組みを続けてきました。おかげで、研究発表会当日や、それまでの取り組みの中で、教員と生徒が心と心で話し合い、同じ思いを共有できる素晴らしい場面に何度も遭遇しました。

この取り組みの中で、生徒はもちろん、本校教職員も確実に成長することができたように感じています。その様子を間近で見ることができた私は、改めて「授業には素晴らしい力がある」そして「教師という職業は本当に素晴らしい」と感じた一年でした。



阿南市中学校人権教育研究発表会での様子(R7年11月21日)

今年度も、あとしばらくとなります。
何かお困りごとなどございましたら、いつでもご相談ください。